長野県梓川高等学校 創立110周年記念事業

1　期　日　令和２年10月23日（金）
午後１時30分から

2　場　所　長野県梓川高等学校　小体育館
（松本市波田）

3　式　典

（１）第１部　記念式典　午後１時30分～２時20分
（出席者）　同窓会員・PTA・生徒・教職員等

（２）第２部　記念講演　午後２時30分～４時
（出席者）　同窓会員・PTA・生徒・教職員・聴講を希望する住民等

・講師「こてつ」（吉本興業東京本社）

4　祝賀会

・場所　松本市波田公民館　午後５時～
（出席者）　同窓会員・PTA・教職員等

・会費　お一人様　3,000円（当日会場にていただきます）

※同窓会役員以外で御出席いただける一般会員の方は、令和２年８月３日(月)から９月30日(水)の間に①氏名、②連絡先TEL、③卒業年、④住所、を記載の上、FAXまたはEメールで梓川高校までお申し込みください。

(FAX) 0263-91-1027
（Ｅメールアドレス）　azusa-hs@nagano-c.ed.jp

第 38 号
●発行●
梓川高校同窓会
●編集●
同窓会広報部
●印刷●
電算印刷㈱
●連絡先●
梓川高校
☎ 0263-92-2119

こてつ

結成年月日：2006年
出身/入社/入門：2003年　NSC　東京校　９期生

北村　智（きたむらとも）
生年月日：1979年９月12日
出身地：群馬県前橋市
趣味：お酒
特技：料理

河合武俊（かわいたけとし）
生年月日：1977年１月２日
出身地：長野県松本市（旧波田町）
趣味：漫画、ダイビング、スイーツ
特技：手汗芸
・梓川高校　平成７年３月卒

・代表作
書籍「長野のおきて～ナガノを楽しむための51のおきて」
（2014.5.26発売/アース・スターエンターテイメント）
・所属　吉本興業東京本社（東京吉本）

令和時代の同窓会の発展を願って

昭和四十年卒
同窓会長　二木　勝清

令和の時代が平和で長く続くことを願っています。

今年は自然災害が多く発生し県内でも甚大な被害が出てしまいましたが、会員の皆様には、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

同窓会の運営は様々な面で難しい状況にありますが、同窓会の発展を願い役員みんなで知恵を出し合い協力しながら努力しているところです。

さて、来年令和二年は母校が創立百十周年を迎え大きな節目の年でもあります。同窓会では、記念事業の実施に向けて準備を進めていますが、事業実施の財源確保が思うように出来ず苦慮している状況にありますので、会員の皆様には再度寄付の協力をお願いします。

又、記念式典等には都合をつけていただき、多くの会員の皆さんが出席くださいますようお願いします。

令和元年　師走

創立110周年記念事業に係る再度の御寄附のお願い

平成29年度発行の同窓会報第37号で、記念事業に充てる寄附金についてお願いしたところ、現在まで329名の同窓生の皆様から御寄附をいただき厚く御礼申し上げます。

現在の寄附額につきましては、個人からの御寄附額は92万円となっております。

しかしながら当初予定していた額（200万円）には達していない状況にあります。

つきましては、前回御寄附をお願いしたばかりで恐縮ではありますが、現状をお汲み取りいただき今回も更に御寄附いただける方は、同封の郵便局振り込み用紙（１人2000円）でお願いします。

地域に支えられて

学校長　百瀬　仁志

いよいよ来年度、創立一一〇周年を迎え記念式典を挙行できますことは、学校としてこの上ない慶びであります。同窓会の皆様にはこれまで日頃から物心両面にわたり温かいご支援をいただき、本校を熱く応援し続けていただいておりますことに、ここにあらためて衷心より感謝申し上げます。

本校の募集定員は昭和六二年度から四年間の一学年三五〇名をピークに減少し、四コース制を導入した平成一三年度からは四クラス一六〇名募集、全校一二クラスの学校として一八年間続いてきました。しかし、少子化の大きなうねりの中、今年度は三クラス一二〇名募集へと変更となりました。この間、平成一九年度からは四コース制を改編し、『教養』『福祉コミュニケーション』『情報ビジネス』の三コースを二年次から選択して学ぶこの地域では唯一のコース制を持つ普通科高校として発展してまいりました。また、近隣の波田、鉢盛、梓川の各中学校出身者が全生徒の五割を超える、地域に根ざし、地域に支えられる、地域の高校として皆様に温かく見守っていただいております。

下島駅の前の歩道橋を生徒たち皆が当たり前のように渡って登校して来る光景は日常のことになっています。昇降口前まで来ると、その生徒等を生徒会の役員や当番の生徒たちが毎日明るいあいさつで迎えます。生徒会のあいさつ運動です。昨年から生徒たちが地域の方々や学校評議員の方々、ＰＴＡ及び教職員と同じテーブルに着き、本校の現状と課題を話し合う『ＫＡＷＡトーク』が始まりました。今年も今までに二回開催し、生徒たちの司会進行でグループディスカッションが行われ、その中で話し合われ出された意見については、一つ一つ実現させようと生徒たちがその方策を検討しています。また、地元の祭や運動会などにボランティアの生徒たちが積極的に参加し、地域の中に入って活動しています。こうして、生徒たち自らが本校をより良い学校へと変えて行こうと意欲的に様々な活動に取り組んでいます。

教職員も新たな社会を創造する力を生徒たちに育もうと、今年度導入されたＩＣＴ機器を使った探究的な学びを取り入れた授業実践に積極的に取り組んでいます。

長野県教育委員会は昨年九月「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針」の中で、本校を『中山間地存立校』と位置づけました。この地域の高校の再編計画は今後着実に進んで行きますが、本校としてはこれまでの教育活動をより進化させて、地域に支えられる高校であり続けることが何より第一に大切なことであると確信しております。これからも生徒と共に前進あるのみで、常に発展し続ける梓川高校でありたいと考えております。

同窓会をはじめとした本校を支えていただいている皆様方には、今後益々変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

●支部交流マレットゴルフ大会●

令和元年10月30日（水）第８回親睦マレットゴルフ大会を松本市波田の梓川沿いの上河原マレットゴルフ場で行いました。前日は雨でしたが当日昼からは好天に恵まれ21名の参加者によりスタート。日頃の仕事疲れをリフレッシュ。なんとかよい成績をと思い皆さん真剣そのものでした。好プレイ、珍プレイ、ミスショット、大きな声を出し笑い、楽しいひとときを過ごしました。終了後は松本電鉄、新島々駅近くの石川旅館で懇親会・表彰式を行いました。優勝は高スコア60で波田支部の波多腰正好さんでした。アルコールがすすみ年上、年下の隔たりなく、大いに語り合い再会を誓い、校歌を全員で歌い、顧問の波多腰芳弘さんの万歳三唱で散会となり楽しく過ごすことのできた秋の一日でした。来年は10月23日（金）に創立110周年記念事業を行います。会員の皆様のご協力よろしくお願いいたします。

●競歩大会●

競歩大会に出発する生徒たち

日　時：2019年（令和元年）10月18日（金）
コース：学校～梓川ふるさと公園（往復18km、標高差114m）
参加者：男子216名、女子142名、合計358名
全員完走
男子１位　伊藤珠佑（２年）　１時間09分44秒
女子１位　清水愛巴（２年）　１時間33分27秒

コース途中の同窓会長宅前給水所にて給水を受ける生徒たち

創立一一〇周年を迎えるにあたって

顧問（百周年実行委員長）
波多腰芳弘

令和二年度は母校が創立一一〇周年を迎えます。平成が終り新時代に入った節目の時に普通高校で再出発してから早四十余年経過して一一〇年となった歴史の重みを改めて痛感いたしました。地域に根ざした高等学校として更なる飛躍への挑戦を願い先の百周年で十年後の記念事業が位置づけされました。

同窓会ではすでに実行委員会を発足しＰＴＡ・学校三位一体で準備に取り組まれておりそのご労苦に対し感謝申し上げます。

母校に対して今一番の不安は高校再編の行方ではないでしょうか。新聞報道等に大きな関心を持っています。「一世紀に一度とも評すべき変革の機会が訪れるのでは」と先の校長先生が警告されました。県教育委員会により「中山間地存立校」として位置づけられた本校の今後の対応と行動に大きな期待が寄せられておりましょう。

組合立にはじまり地域の核となって今日迄発展してきた歴史を閉じるような事だけは何としても阻止しなければなりません。

その意味でも一一〇周年記念事業には会員の大きな結集をいただき将来に向かって堂々と存続できる母校の地位向上に支援・協力をしてまいりましょう。

記念事業の盛会をご祈念申し上げます。

令和元年度 同窓会一般会計予算書

収　入　2,234,000円
支　出　2,234,000円
差引残金　0円

収　入　円

項　目	予算額(円)	備　考
1 繰越金	1,065,873	前年度からの繰越
2 入会金	1,168,000	31年度卒業生145名
3 寄附金	0	
4 雑収入	127	預金利息
計	2,234,000	

支　出　円

項　目	予算額(円)	備　考
1 会議費	145,000	各種会議費
2 事務費	170,000	費用弁償、消耗品
3 事業費	1,730,000	会報発行他
4 交際費	80,000	交際費
5 積立金	100,000	110周年積立
6 予備費	9,000	予備費
計	2,234,000	

令和元年度事業計画

1　組織強化に向け支部活動の活性化
2　梓川高等学校を支える会への支援活動
3　親睦マレットゴルフ大会
4　環境整備作業・競歩大会への協力
5　同窓会・学校・PTAとの三者教育懇談会
6　会員台帳の整備（新規会員の追加など）
7　同窓会関係の書類の整理保管
8　110周年記念事業（令和2年10月23日（金））に向けての準備

支部だより

同窓会各支部の活動報告や
情報交換のコーナーです。

波田支部

支部の組織強化に思う

昭和三十六年卒
支部長　波多腰正寿

波田支部は、母校の在所であり、また創立百十周年（令和二年）の歴史があります。

支部会員は、千二百名余（本部会員の十三％余）になります。しかし少子化と社会情勢の変化により、母校は、統廃合等の波にさらされて「中山間地存立校」に位置付けされております。松本、安曇野、西山の麓にあり産業・文化・地域発展に携わっております。

この母校発展の為には、我々地元支部同窓会が「力」をつけなければなりません。今日波田支部では約四十名の会員の方が活動に参加しております。春の支部総会、秋の本部マレットゴルフ大会参加、新年の交流会等を行っており、活動出来る会員を多くすることは、なかなか大変です。十月の支部役員会では、波田公民館において、令和二年二月一日（土）午後二時より開催することにしました。今年一月の第一回では三十二名の方が参加され和気あいあいの雰囲気の中でおこなわれました。「過去には、波田、梓川、山形の三支部にて、バス旅行、レクリエーションなど行った楽しい情報交換の場があった」との話が出てまいりました。波田支部としては、令和二年の交流会には、五十名の参加者を目標に、会員名簿の確認のためにも、毎年の新年交流会には第五十回卒、第三十回卒、第十五回卒の会員には必ず連絡をとり、若い会員の参加者を期待したいと思います。他の高校同窓会では本部が後押しで五十回、三十回卒業生の交流会が開催されております。いつか波田支部において百名の参加者になれば、梓川、山形支部にも声をかけ、「あるいは本部にて県内、全国の方々に声が掛けられれば」会員相互の親睦がつけば母校存続、発展につながると思い……

私はそんな夢を見ています。

寄稿文

故郷を思い、明日へ向かって

昭和五十三年卒
埼玉支部　三浦　正晴

同窓の皆様には、益々御健勝のことと存じます。私は昭和五十三年卒業、早四十一年歳月が経過しました。同窓会報紙を読むと青春時代のいろいろな思い出が走馬灯の様に脳裏に浮かんできます。当時は、自転車でアルプスの山々を見ながら農道を通学、部活ではテニス部に所属し、朝練で同級生に校舎の窓から見られるなか、緊張しラケットを空振りすると皆に爆笑されたり、高校一年時、競歩大会で入賞、唯一校長先生から全校生徒の前で表彰された楽しい思い出があります。

前回同窓会報紙で「母校存続に向けて」の記事を読み、少子化の影響で県立高校統廃合の記事が掲載されておりました。私が居住する埼玉県も私立高校が、こぞって系列中学校を併設し中学校から生徒を確保しており、また帰省するたびに松本市も新設私立高校が創設したりして、母校梓川高校周辺も厳しい状況が続くと感じております。

自分が卒業した母校がなくなることは、とても寂しい事です。高校周辺地域も若い在校生がいるだけで、地域活性化になっていると思います。二年前に松本の卒業した中学校同級会があり、温厚で仲良くして頂いた同級生が高校の教員となり、梓川高校で教鞭をとっていることを知り、学校の現況を聞くことができ、何か不思議な縁を感じました。私も高校を卒業後、自衛隊に入隊し三十六年余勤務定年、現在は東京都内にあります病院の施設管理業務で第二の人生勤務しております。健康管理、目標を持つ事を念頭に四年前よりマラソンに挑戦しており、松本マラソンが開催される事を知り、故郷を思い、高校同級生等元気かなと松本の景色を見ながら思い浮かべ、第一回より出走し今年も完走しました。元気な限り走り続けたいと思っております。今の自分があるのも苦しいことも沢山ありましたが、自衛隊で定年まで勤務できたからだと思っております。最後に在校生の皆さん、「人生はマラソン」、山あり谷ありですが明日に向かって、いろいろな分野で活躍されることを願っております。学校の益々の発展を祈念しております。

令和元年度 同窓会役員名簿（敬称略）

会長　二木　勝清
会長代行（島立支部長）　草間　洋一
副会長（事務局長）　牧田　勝明
副会長（会計）　大月　章
副会長（組織部長）　船坂　明弘
副会長（広報部長）　小林　静夫
副会長（広報部）　百瀬　久子
副会長（広報部）　中村　幸子
副会長（波田支部長）　波多腰正寿
副会長（山形支部長）　西牧　一敏
副会長（梓川支部長）　金井　久
副会長（安曇支部長）　川上　桂二
副会長（事務局担当）　近藤　佳雄
監事　小林　昭五
監事　加藤　忠義
顧問　矢島平八郎
顧問　百瀬　卓雄
顧問　波多腰芳弘
顧問　西牧　利雄
顧問　上村　光広
顧問（校長）　百瀬　仁志

支部長

新村支部長　柳沢　敏志
神林支部長　野間　裕二
里山辺支部長　柿沢　潔
入山辺支部長　矢島平八郎
和田支部長　上原　浩
笹賀支部長　古林　基茂
本郷支部長　倉科　武久
豊科支部長　熊藤　岩雄
明科支部長　滝沢　英明
坂北支部長　山崎　典雄
木曽支部長　岩原　重男
長野支部長　竹重　聡
東京支部長　馬目世母子
愛知支部長　金子　昌弘

同窓会事務局
松本市波田六五八九―二
牧田　勝明
☎〇二六三―九二―四一〇四

お知らせ

同窓会報に掲載する詩歌（詩・俳句・短歌・川柳等）や所感等を随時募集しています。

一、応募規定
㈠詩歌（詩・俳句・短歌・川柳等）
一人七点まで
㈡所感等
一人おおむね四〇〇字位

二、送付先
〒三九〇―一四〇一
長野県松本市波田一〇〇〇〇―一
長野県梓川高校同窓会事務局
TEL〇二六三―九二―二一一九
FAX〇二六三―九一―一〇二七

三、その他
送付方法は郵送又はFAX等どの方法でも結構です。

広告を募集します

同窓会報に掲載する会員及び会員の企業等の広告を随時募集しますので、積極的にご利用ください。

なお詳細につきましては、同窓会事務局までお問い合わせください。

TEL〇二六三―九二―二一一九
FAX〇二六三―九一―一〇二七

三年間の陸上部の活動を通して

陸上部三年　山田　勇里（男子ハンマー投げ）

私は陸上部に入って様々なことを経験し、学びました。私は中学時代バスケ部に所属していたので高校でもバスケ部に入ろうと考えていましたが正直入るかどうか迷っていました。そこで藤原先生に陸上部に来てみないかと誘われ陸上部に行ってみました。陸上部の雰囲気は良く、この部は楽しそうだなと思い入部しました。入部して少したって、私はてんかんという病気になり、皆ほど練習ができなくなりましたが、それでもできることをいつも以上に頑張りました。今はもう二年以上発症していないので安心しています。話がそれましたが、私はハンマー投げをメインにやってきました。結果は北信越大会まででしたがそれでも自分の中では満足しています。中学時代では考えてもいなかった大会なので本当にいいのかと疑ったりもしました。長野県内で1位にもなりましたが、正直実感がわきませんでした。他の人より練習はできていないはずですが何で1位になれたのか今だに疑問に思っています。ですがやっぱり1位になることで梓川高校に何かしらの貢献できたのではないかと勝手に思っています。

最後にハンマー投げができてよかったと陸上部に入ってよかったと思っています。

平成三十年度 進路状況

梓川高校は地域と密接な関係にあると言うことを進路の担当をしていますと本当に感じます。このところの卒業生の進路状況を見ますと、進学七割弱・就職三割強と割合はほとんど変化しておりません。その進路先を見ますと就職では九割以上が松本を中心とした管内（その他塩尻・安曇野・東筑摩郡）に就職をしております。そしてその求人担当者の方々が、「弊社にも貴校の卒業生がいて、是非後輩を紹介してほしい。」と言われながら求人活動をしに来校されます。この時に、本校が百年以上の歴史を持った学校で、この地に人材を脈々と輩出し続けていることの凄さと地元企業との関係のありがたさを感じます。これからも地域に貢献する人材を排出し続ける学校でありたいと願うばかりです。

そして地元に貢献するためにも、本校生が地元企業に働き続けることが重要な条件となります。そのためにも離職を押さえるための指導をやり続けなければならないと思います。

さて、進学では県内四年制大学での公立化の動きがあって以降、指定校枠で進学をする生徒が多数を占める本校では、進学がかなり厳しくなってきています。この影響を受け、県内進学は四年制大学についてはかなり厳しい状況が続いています。これを受けまして今まで進学をしていなかった県内大学への進学にチャレンジをし、その門戸を開く動きも出てきました。今後の本校生のチャレンジを期待したいものです。

短期大学、専門学校は四年制大学ほど県内進学は難しくはありません。こちらでもやはり指定校による進学が中心で、かなりの生徒が県内進学をしております。県内にない学部学科を中心に県外進学もありますが、その生徒たちは地元に戻ってきたい意向があるようです。

自分の人生設計を考えながら生徒たちはそれぞれの道に進んでおります。

さまざまな場面で同窓生の方からご協力、ご助言をいただく場面が多いと思います。在校生を温かく見守り、これからもよろしくお願いしたいと切に願うものです。

〈進路別決定数〉

進路概況	男	女	計
進　学	53	27	80
就　職	26	22	48
その他	4	3	7
計	83	52	135

〈進学の内訳〉

進　学	男子	女子	計
大　学	16	3	19
短　大	9	12	21
技専・大学校	5	0	5
専　門	23	12	35
計	53	27	80

【進学】

〈大学〉

	進　学　先	男子	女子
県内	松本大学　総合経営学部	5	
県内	松本大学　人間健康学部	2	
県内	松本大学　教育学部	1	
県内	長野保健医療大学　看護学部		1
県外	健康科学大学　健康科学学部	1	
県外	淑徳大学　人文学部	1	
県外	駿河台大学　経済経営学部	1	
県外	東京工芸大学　工学部	1	
県外	千葉商科大学　国際教養学部	1	
県外	修文大学　看護学部		1
県外	東海学院大学　人間関係学部		1
県外	名古屋学院大学　現代社会学部	1	
県外	名古屋商科大学　国際学部	1	
県外	日本福祉大学　経済学部	1	
	計	16	3

〈短期大学〉

	進　学　先	男子	女子
県内	飯田女子短期大学 家政学科		1
県内	飯田女子短期大学 看護学科		1
県内	信州豊南短期大学　幼児教育学科		1
県内	清泉女学院短期大学　幼児教育学科		1
県内	松本大学松商短期大学部 商学科	2	1
県内	松本短期大学 看護学科	1	1
県内	松本短期大学 幼児保育学科		3
県内	松本短期大学 介護福祉学科	6	2
県外	愛知医療学院短期大学 リハビリテーション学科		1
	計	9	12

〈専修・各種学校　その他〉

	進　学　先	男子	女子
県内	松本技術専門校	3	
県内	信州木曽看護専門学校		1
県内	上田情報ビジネス専門学校	1	
県内	エプソン情報科学専門学校	2	
県内	大原スポーツ公務員専門学校松本校	1	
県内	大原簿記情報ビジネス専門学校松本校	3	
県内	岡学園トータルデザインアカデミー	1	
県内	信州医療福祉専門学校	1	
県内	専門学校未来ビジネスカレッジ		1
県内	松本情報工科専門学校	4	
県内	松本調理師製菓師専門学校		2
県内	松本理容美容専門学校	2	1
県外	アミューズメントメディア総合学院	1	1
県外	東京コミュニケーションアート専門学校	1	
県外	東京自動車大学校	1	
県外	日本工学院専門学校八王子校	1	
県外	文化服装学院専門学校	1	
県外	ベルエッポク美容専門学校原宿校		2
県外	大宮国際動物専門学校	1	
県外	群馬自動車大学校	1	
県外	国際音楽ダンスエンタテイメント専門学校		1
県外	国際ペットワールド専門学校	1	
県外	国際ホテルブライダル専門学校		1
県外	専門学校サンテクノカレッジ	1	
県外	九州ビジュアルアーツ専門学校		1
	計	28	12

【就職】

縁故就職を含む

就　職　先	男子	女子
オーエムテック　株式会社		1
株式会社　岩野商会	1	
株式会社　王滝	1	
株式会社　共立製作所		1
株式会社　国吉		1
株式会社　オリエンタル		1
株式会社　キャンパスシネマ	1	
株式会社　ジーユー	1	
株式会社　信州シキシマ		1
株式会社　セラヴィリゾート泉郷	1	
株式会社　デイリーはやしや		2
株式会社　ディバイザー	1	
株式会社　デンソーエアシステムズ	2	
株式会社　ナガノトマト	1	
株式会社　日邦バルブ		1
株式会社　ハーモニックプレシジョン	1	2
株式会社　ビジック		1
株式会社　ファイブフォックス		1
株式会社　ポテトデリカ	1	
株式会社　マサムラ		1
株式会社　モリキ		1
株式会社　ユニコン	1	
株式会社　ワールドインダストリーニット		1
株式会社　ワールドストアパートナーズ		1
カンロ　株式会社	1	1
協和ダンボール　株式会社	1	
ゴールドパック　株式会社	1	1
社会福祉法人　梓の郷		1
社会福祉法人　サンビジョン	1	
宗教法人　諏訪大社		1
城北工業　株式会社　長野工場	1	
TIPcomposite　株式会社		1
東新工業　株式会社	2	
東洋計器　株式会社	1	
日本郵便　株式会社　信越支社		1
富士電機　株式会社　電子デバイス事業本部	1	
レンゴー　株式会社　松本分工場	1	
エスフーズ　株式会社	1	
壁屋　左官志	1	
有限会社　栄電	1	
陸上自衛官候補生	1	
計	26	22

～ 部活動の記録　2019年度　春季の主な戦績・活動 ～

野球部

◆第139回北信越高校野球長野大会中信予選〈春季〉
　１回戦：対　●木曽青峰（４－11）７回コールド
◆第100回全国高等学校野球選手権記念長野大会
　２回戦：対　○須坂東（５－０）
　３回戦：対　●東海大諏訪（０－17）
◆第141回北信越高校野球長野大会中信予選〈秋季〉
　２回戦：対　●木曽青峰（０－７）７回コールド

陸上部

◆令和元年度　中信高等学校総合体育大会
　ハンマー投（男子）山田　勇里　１位　長岩　　輝　６位
　円盤投　　（男子）山田　勇里　５位
　ハンマー投（女子）菅原　愛星　１位　上條　翔子　５位
　やり投　　（女子）宮坂光乃里　７位　小林ひかる　８位
　円盤投　　（女子）菅原　愛星　４位　天野絵理奈　７位
◆令和元年度　長野県高等学校総合体育大会
　ハンマー投（男子）山田　勇里　１位
　円盤投　　（男子）山田　勇里　４位
　ハンマー投（女子）菅原　愛星　４位
◆令和元年度　北信越高等学校総合体育大会
　ハンマー投（男子）山田　勇里　７位
◆令和元年度　中信高等学校新人体育大会
　ハンマー投（男子）長岩　　輝　２位　中村　響己　４位
　円盤投　　（男子）中村　響己　８位
　800m　　（男子）伊藤　珠佑　４位
　ハンマー投（女子）上條　翔子　２位　宮坂光乃里　４位
　やり投げ　（女子）上條　翔子　８位　藤山ひより　７位
　円盤投　　（女子）天野絵理奈　３位　小倉ゆきの　５位
◆令和元年度　長野県高等学校新人体育大会
　ハンマー投（女子）上條　翔子　５位

卓球部

◆令和元年度　中信高校総体
　男子団体２回戦　梓川１－３松本蟻ケ崎
　女子団体２回戦　梓川１－３松本深志
　女子ダブルス　上原・松岡組　７位　県大会出場
◆令和元年度　県高校総体
　女子ダブルス　２回戦敗退
◆令和元年度　中信高校新人
　男子シングルス　二木海吏　９位　県大会出場

男子バレー部

◆令和元年度　中信高等学校総合体育大会バレーボール競技会
　１回戦　対　蘇南高等学校（２－１）
　２回戦　対　松本工業高等学校（１－２）

女子バレー部

◆令和元年度 中信高等学校総合体育大会バレーボール競技会
　１回戦　対　南安曇農業高等学校（０－２）

男子バスケ部

◆令和元年度 中信高校総体
　１回戦　対　木曽青峰高等学校（62－76）

女子バスケ部

◆ウインターカップ中信地区予選会
　１回戦　対　松商学園（32－98）

テニス部

◆2019年全日本ジュニアテニス選手権中信地区予選
　ダブルス　北澤飛翔・城戸宏太　ベスト16進出
◆令和元年度 中信高等学校新人体育大会
　団体戦　６位

サッカー部

◆令和元年度　中信高等学校総合体育大会
　１回戦　梓川　０－４　豊科
◆令和元年度　全国高校サッカー選手権大会長野県大会
　１回戦　梓川　０－０　長野南
　　ＰＫ　４－５
◆令和元年度　中信高等学校新人体育大会
　１回戦　梓川　０－２　穂高商業

バドミントン部

◆令和元年度　中信高等学校総合体育大会バドミントン競技会
　男子団体　１回戦　対　明科（１－３）
　女子団体　１回戦　対　穂高商業（２－３）
◆第62回　松本市民体育大会秋季大会バドミントン競技
　ジュニアCシングルス　武居明星　ベスト16
◆令和元年度　中信地区高等学校新人体育大会
　男子団体　１回戦　対　池田工業（１－３）

弓道部

５月　中信総体（個人）
　　松本市民体育大会
８月　大町市制記念大会（近的）
９月　塩尻武道大会
　　公開練習（塩尻市弓道場）
　　中信高校新人大会（個人・団体）
10月　松本市民体育大会
　　中信弐段以下事前講習会
　　中信弐段以下審査

剣道部

◆令和元年度　中信高等学校総合体育大会
【男子】団体戦予選リーグ　２位通過
　対　松本蟻ヶ崎●
　対　松本秀峰○
　対　都市大塩尻○

吹奏楽部

入学式や対面式での演奏

演劇部

◆第35回長野県高校演劇合同発表会出場
　2018年度創作脚本賞　優秀賞
◆第34回中信地区高等学校演劇合同発表会出場
　トランクシアター・プロジェクト2019波田公演運営スタッフ
◆2019年度長野県高等学校演劇連盟創作脚本賞　優秀賞

軽音楽部

梓水祭での演奏

食物部

「部員の作りたい、食べたい」を優先し、週１回の活動をしています。みんな仲良く実習をしています。お菓子作りを中心に毎週月曜日楽しく実習しています。

美術部

文化祭へ向けた制作（ステージバック・作品）
文化祭展示・販売
技術向上のためのデッサン・技法など練習
信州総文祭スタッフ参加（８月）
松本学生美術展その他へ向けた作品制作
松本学生美術展ワークショップ参加
（豊科美術館・松本市美術館）
波田町イルミネーション作成(12月)
安曇野学生美術展参加（２月）
八十二銀行での作品展示（７・８月）、波田町文化祭ポスター制作
松本学生美術展出品（10月）、県高校美術展４名選出
波田文化祭にポスター制作・作品展示で参加（11月）

編集後記　今回は創立110周年記念事業特集号となりました。同窓会の皆様の力強い御協力をどうぞよろしくお願いいたします。
特集号ということもあり、発行時期も会員の皆様がゆっくり読んでいただけるよう12月下旬としました。